

IUJ

ITエンジニア用

Elementary Japanese for IT Engineers 〈1〉

初級日本語 〈1〉

GSIR

国際関係学研究科

公共部門の課題に対応する国際関係学研究科は、時代の潮流を見通す長期的なビジョンと多様な価値観を認識・理解するグローバルな視野を有し、国際社会が抱える広範囲で多様な課題に対して高度な分析能力と問題解決能力を発揮できるプロフェッショナルの養成を目的とします。1982年の開設以来、21世紀の国際社会で幅広く活躍できる様々な分野のリーダーを数多く輩出、世界的に高い評価を受けています。

<http://www.iuj.ac.jp/ja/gsir/>

博士後期課程

PhD

博士後期課程では、既存の国際関係学研究科修士課程の「国際開発学プログラム」、「公共経営・政策分析プログラム」、「国際関係学プログラム」の専門性を更に深化させた次の三つのクラスターからなる教育研究体制を構築しています。

経済学クラスター

●博士（経済学）

公共経営学クラスター

●博士（公共経営学）

国際関係学クラスター

●博士（国際関係学）

修士課程

IRP

国際関係学プログラム：

●修士（国際関係学）

国際関係に関わる政治、経済、社会の主要な事象や趨勢を包括的、複合的に理解し、分析する能力を高め、国際社会の各分野のリーダーとして幅広く活躍できる人材を養成します。

●修士（国際平和学）

武力紛争と平和構築、貧困と開発、環境破壊と持続的発展、ジェンダーなどによる差別など、「人間の安全保障」にとって重要であると考えられているすべてのグローバル・イシューを研究対象としています。

IDP

国際開発学プログラム：

●修士（国際開発学）

環境に優しく平和で貧困と所得格差の無い国際社会を構築するために必要な専門知識、科学的分析手法、実践的理論を身につけ、国際社会で幅広く活躍できる国際開発のプロフェッショナルを養成します。

●修士（経済学）

持続可能な経済成長を目的とした経済開発政策の立案・実行を担う専門職業人を養成します。高度な経済理論と計量分析手法だけでなく、それらの諸理論を現実の経済開発政策に応用する実践的能力を学びます。

PMPP

公共経営・政策分析プログラム：

●修士（公共経営学）

効率的な公共経営及びグッド・ガバナンスの構築に寄与するために必要な専門知識、科学的手法、実践的理論を修得し、国際機関、中央・地方政府などの公共部門で幅広く活躍できる政策実施評価能力及び組織管理能力を持つ専門家を養成します。

PPP

公共政策プログラム（1年制）：

●修士（公共政策）

急速に進展するグローバル化への対応が急務となっているわが国の社会において、近年最も必要とされている“国際社会に向けて日本を発信できる人材”の育成を目的とし、政府機関や地方自治体あるいは企業等において2年以上実務に就いている社会人を主な対象とした1年制修士課程です。

GSIM

国際経営学研究科

民間部門の課題に対応する国際経営学研究科は、時代を先駆けるグローバル・リーダーの育成を目的とします。多文化・多国籍の環境のもとでリーダーシップを発揮できる能力、マネジメントの基礎となる職能的スキルや知識を十全に身に付けたジェネラルマネジャーを輩出、MBAプログラムの世界ランキングにも選ばれており、アジアを代表するビジネススクールとして認められています。

<http://www.iuj.ac.jp/ja/gsim/>

修士課程

MBA

MBAプログラム：

●修士（経営学）

ファイナンス、マーケティング、製品開発、マネジメント、IT、人的資源管理、オペレーションズ・マネジメント、会計学、経営倫理、異文化経営などの新興国市場を重要視した基礎知識を修得後、キャリアプランに沿って科目を選択。多国籍環境でも経営課題を実践的に解決できるリーダーを育成します。

IMBA

MBA 1年制プログラム：

●修士（経営学）

実務経験を通して既にかかなりの専門知識を有する方を、12ヶ月でグローバル経営人材として育成することを目的としたインテンシブなプログラムです。原則として5年以上の職務経験がある方を対象としています。

E-Biz

Eビジネス経営学プログラム（1年制）：

●修士（Eビジネス経営学）

テクノロジーを応用して、ビジネスに付加価値をもたらすことのできる人材を育成する1年制修士課程です。学生のキャリアプランに合わせ、MBAの授業科目も含め、フレキシブルな科目選択が可能です。

IUJ EVOLUTION

アジアのグローバル・スタンダードを世界標準へ

2014年9月、国際大学は、文部科学省が公募した「スーパーグローバル大学創成支援」に採択されました。

同事業には、全国の国公立大学から104校109件の申請があり、37件が採択されています。

国際大学はこれまでの取り組みを実績を基に、さらに先導的試行に挑戦し、日本社会全体のグローバル化を牽引します。

www.iuj.ac.jp/sgu/

スーパーグローバル大学創成支援とは

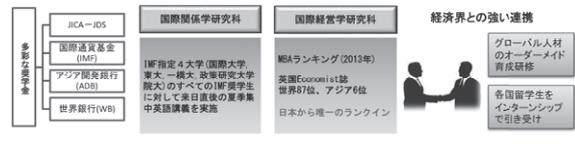
文部科学省による重点対策の一つで、選定した構想への重点的な支援を行い、大学の国際通用性や国際競争力の強化を図るものです。経済社会のグローバル化が進む中、日本が今後も世界に伍して発展していくためには、多様な場でグローバルに活躍できる人材の育成が不可欠です。

スーパーグローバル大学創成支援に採択された大学は、各大学の理念等に基づき、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための新たな取り組みや、人事・教務システムの改革、学生のグローバル対応力育成のための体制強化などの構想を立て、成果指標と達成目標を掲げています。

1. 国際大学の理念と現状

建学の精神

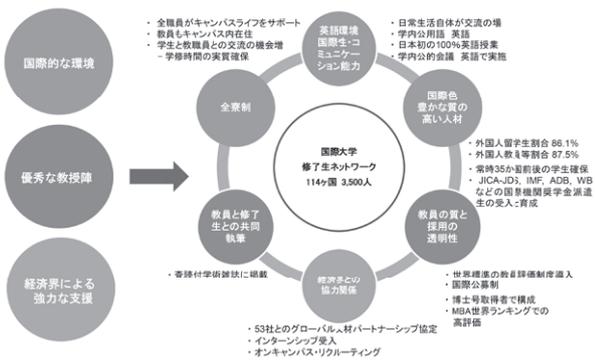
高度に専門的且つ学際的学識を具備し、それを国際場で実践活用し得る人材の育成



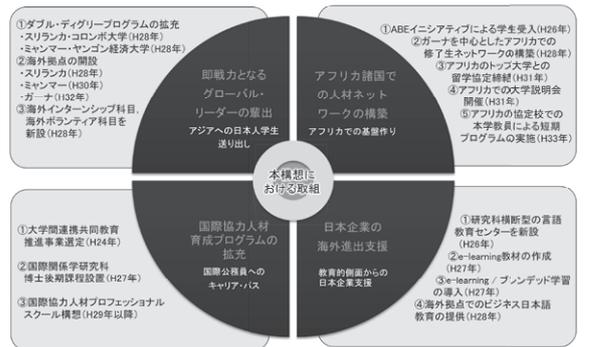
2. 工程表

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
		ステップ1			ステップ2				ステップ3	
		アジア基盤強化・アフリカ進出準備			アフリカ展開・遠征構築				世界進出への基盤構築	
国際化推進	(1) アジアを中心としたダブル・ディグリー構想の検討・準備期間	既存のものに加え、コロナ大学、ヤンゴン経済大学とのダブル・ディグリー・プログラムを実施	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(2) 新たな海外拠点の設立	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(3) アフリカにおける戦略的連携	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(4) 国際協力人育成プログラムの拡充	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(5) 国際協力人育成プログラムの拡充	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(6) 日本人学生向け海外留学支援体制の確立	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(7) 博士課程(後期)設置	申請	設置	申請	設置	申請	設置	申請	設置	申請
国際化推進	(8) ナンバリング	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(9) システムのフォーマット統一	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(10) 組織体制	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間
国際化推進	(11) ガバナンス	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間	検討・準備期間

6. 国際大学の実績と特性



7. 本構想における特徴ある取組



言語教育研究センター

◆国際大学の言語教育研究センターについて

言語教育研究センター（CLEAR）は英語プログラム（ELP）と日本語プログラム（JLP）から成り立っています。それぞれの言語プログラムは、実践的な学び、特に論文やプレゼンテーション、グループディスカッションなどの学問的専門的キャリアを磨く場を提供します。また、夏期集中講座などでIUJ以外にも門戸を開いています。また、CLEARの教員は各々の専門分野における知見を深めるべく、理論的あるいは実践的な研究を進めております。

日本語プログラム

コース概要

日本語プログラム（JLP）では基礎、初級、中級、上級などのコースを提供しています。基礎や初級コースではコミュニケーションスキルの基礎、中級コースでは基礎的日本語を使った応用力、上級コースでは社会問題や自分の専門について説明、議論ができる日本語力を身につけることを目標としています。また、日本語学習の成果の場として「日本語発表会」を毎年実施しています。無単位のコースとして、ビジネス場面で必要な敬語やビジネスマナーを身につけるビジネス日本語コースがあります。

各コースの日本語到達目標 * OPI oral proficiency interview

レベル	JLPT レベル	漢字数	OPI
初級	N4	300	初 - 中～中 - 下レベル
中級	N2～3	600～700	中 - 上～上 - 下レベル
上級	N1～2	1000～2000	上 - 中～上 - 上レベル

日本語集中プログラム

日本語を学んだことがない学習者を対象に日本語集中講座（4～6日間）を実施します。対象となる学習者はIMF奨学生とIUJ留学生です。ひらがな、カタカナ、挨拶、自己紹介、買い物時の会話など日常生活に必要な日本語を身につけます。

教材開発

JLPでは、ビジネスプラクティス教材、動画教材、アプリ教材を開発しています。ビジネスプラクティス教材は、ビジネスの事例を取り上げ、ビジネスマナーについて考える教材です。動画教材では、南魚沼市の情報を盛り込んだ映像を使い、大学入学前の学生が来日前に日本語の表現や日本事情を理解できるようになっています。アプリ教材（2016年3月完成）では、ひらがな、カタカナをe-learningによって来日前に学ぶことができます。

海外における活動

ベトナムにおいて、ベトナム人日本語教員を対象に教員研修を行い、ベトナムにおける日本語教育の質の向上に貢献します。また、2015年11月7日に開所した「国際大学・ハノイ国家大学外国語大学ハノイ共同事務所」の所在するベトナムをはじめとして、ミャンマー、ガーナにおいて日本語教育について取り組む予定です。

日本語教育ワークショップ

地域貢献の一環として、日本語を教える人のためにワークショップを開催しています。ワークショップでは、「日本語教育」について理解し、日本語非母語話者に日本語を教えることについて考えます。

英語プログラム

コース概要

英語プログラム（ELP）では学術研究及びビジネス場面などで使用する英語の修得を目指し、以下の3つのタイプの英語コースを提供しています。

Academic English

Academic Englishは1年次の学生を対象とした科目で、大学院での学業を遂行するために、アカデミックライティングに必要な基礎を学びます。またEnglish for Thesis Writingでは2年次の学生が修士論文を書くトレーニングをします。

夏期英語集中講座（IEP）

IEPは7月中旬から9月中旬まで行われる8週間の集中プログラムです。本学に入学する学生の入学準備講座及び企業・機関の研修プログラムとして受講者を受け入れています。IEPは、週に23時間の授業に加えて、課題や宿題が課せられます。ディスカッションやプレゼンテーションだけでなく、リーディングやライティングも含め、実用的で正確な英語能力の習得を目標とした合宿型のプログラムです。

受講者は様々な国から来た学生と共に学び、交流することで異文化コミュニケーションスキルを向上させることができます。更に、様々な課外活動やスポーツなども行っており、授業やこれらの活動を通して、日本にいながら完全な英語環境を体験することができます。

ノンディグリープログラム

（企業・団体向け研修プログラム）

英語プログラムでは、企業の社員向けに短期研修プログラムを行っています。この研修プログラムでは参加者が職業上必要とする英語にあわせて、ビジネスコミュニケーション、プレゼンテーション、異文化コミュニケーション、人的交流、組織的行動などの授業を提供しています。さらに、新潟県内で英語を教えている教員向けに「英語教諭資質向上プログラム」も行っています。このプログラムでは、英語教員研修の専門家によるワークショップを通して、英語教育についての理論や実践的知識を向上させることができます。どちらのプログラムにおいても、IUJの多文化環境のもと、世界各国からの留学生と交流しながら学ぶことができます。

IUJ

IT エンジニア用

Elementary Japanese for IT Engineers 〈1〉

初級日本語 〈1〉

もくじ 目次

● 本書について	ほんしょ	2p
● 登場人物	とうじょうじんぶつ	3p
● 第1課	わたし NVS 社の社員です	だい 1 課 わたし しゃ しゃいん 4p
● 第2課	これは英語で何ですか	だい 2 課 これ えいご なん 12p
● 第3課	セミナーを行います	だい 3 課 セミナー おこな 18p
● 第4課	会議は明日何時に始まりますか	だい 4 課 かいぎ あしたなんじ はじ 26p
● 第5課	三時ごろの新幹線で行きませんか	だい 5 課 さんじ しんかんせん い 32p
● 第6課	会議の準備をしてください	だい 6 課 かいぎ じゅんび 38p
● 第7課	A4のファイルをください	だい 7 課 A4 のファイル を ください 44p
● 第8課	営業の仕事が好きです	だい 8 課 えいぎょう しごと す 50p
● 第9課	C社とも取り引きしたいです	だい 9 課 しゃ と ひ 56p
● 第10課	今何をしていますか	だい 10 課 いまなに 62p

本書について

本書はITエンジニアを対象とした初級教科書です。語彙や場面をITエンジニアがよく使うものに設定し、現場で専門用語を使って仕事ができるようになることを目指してこの教科書を作りました。Vol.1～3の全3巻を予定しており、本書はそのうちのVol.1です。Vol.1は全10課からなり、1課あたり5～7時間の学習時間を想定しています。

各課の構成は、「Can Do」「フローチャート」「会話」「Sentence Patterns」「読みもの」「ことばのリスト」という構成です。また、巻末にはAppendixとして日常生活に必要な語彙とIT語彙を掲載しました。本書はITエンジニア向けであり、会話や読みものはビジネスの場面なので、一般の初級教科書に出てくるような日常生活でよく使う語彙が少なくなったため、巻末にまとめました。また、IT語彙は、各課の会話・読みものに出る語に加え、IT企業でよく使われるであろう語彙も巻末に掲載しました。漢字表記は原則初級教科書によく出てくる漢字を選びました。また、本書の対象がITエンジニアであり、ビジネスマンであることから、職場でよく目にするような語彙は、初級レベルではなくても漢字表記にしました。漢字にはすべてルビを振ってあります。

【Can Do】

1課が終わるとどのようなことができるようになるかを記載しました。各課のトピックは以下の通りです。

- 第1課 自己紹介
- 第2課 ビジネスランチ
- 第3課 電話
- 第4課 スケジュール
- 第5課 出張の相談
- 第6課 仕事の依頼
- 第7課 場所をたずねる
- 第8課 好みについて
- 第9課 出張の相談
- 第10課 仕事の進捗状況

【フローチャート】

ある状況においてどのように会話が流れていくかを示したものです。この基本の流れに沿って会話が行えるよう図式化しました。

【会話】

IT企業内での上司と部下、同僚、また取引先との会話などを中心に作成されています。この会話を通して、学習者はあいづちや待遇表現などを学ぶことができます。また、ビジネスの場面でよく使われる定型表現などは初級のレベルではないものでも覚えて使えるように会話文に取り入れました。

【Sentence Patterns】

その課で学習する基本文型です。

【読みもの】

読みものは各課、社内あるいは社外宛のメールとしました。初級からメールの書き方の定型などを覚えることを目指しています。

【ことばのリスト】

このリストには「フローチャート」「会話」「Sentence Patterns」「読みもの」に出てくる語彙を載せています。たとえば「失礼します」などのようにいろいろな意味で使われる語はその都度、リストに載せました。動詞はグループごとに並べて提出しています。

本書の作成にあたりましては、データセクション株式会社、並びにデータセクションベトナム会長の権代祥一様には大変お世話になりました。IT系語彙リストを使用させていただきました上に、本書の内容についていろいろなアドバイスも賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

とうじょうじんぶつ
登場人物

ぎぎょう
《NVS (IT企業)》

かいはつぶ
 ●システム開発部



ぶちょう ほんだ
 部長：本田



かちょう やまもと
 課長：山本



しゃいん さとう
 社員：佐藤



しゃいん ゲン
 社員：ゲン
 (ベトナム人)



しゃいん クマール
 社員：クマール
 (インド人)

そうむぶ
 ●総務部



しゃいん ひらた
 社員：平田

えいぎょうぶ
 ●営業部



しゃいん せきぐち
 社員：関口



しゃいん リン
 社員：リン
 (中国人)

とりひきさき
《ヤマトスーパー (取引先)》



しゃいん もりた
 社員：森田

かい わ 会 話

1. (At a party Ms. Yamamoto introduces Mr. Nguyen to Mr. Honda, who is ^{ぶちよう}部長 of NVS ^{しゃ}社.)

やまもと : ^{ほんだぶちよう}本田部長、こちらはグエンさんです。

グエン : はじめまして、グエン・トゥイです。ベトナムのハノイ^{ししや}支社^きから来ました。
どうぞよろしく^{ねが}お願いします。

^{ほんだ}本田 : ^{ほんだ}本田です。よろしく。

.....

^{ほんだ}本田 : グエンさんの^{しゅっしん}出身は ホーチミンですか。

グエン : いいえ。ハノイです。

2. (Ms. Nguyen introduces herself to the colleagues in the office in Tokyo.)

グエン : はじめまして、グエン・トゥイです。^{きょう}今日^{せわ}からお世話^{ねが}になります。
どうぞよろしく^{ねが}お願いします。

Sentence Patterns:

1. N1は N2です

- a. わたしは ゲエンです。
 b. ^{たなか}田中さんは システムエンジニアです。

2. N1のN2

- a. ^{わたし}私の ^{しゅっしん}出身は カナダです。
 b. ^{はやしぶちょう}林部長の ^{しゅみ}趣味は ゴルフです。
 c. ^{はやし}林さんは システム ^{かいほつぶ}開発部の ^{ぶちょう}部長です。
 d. マイさんは A社の ^{しゃいん}社員です。

3. N1は N2ですか

- a. マイさんは プログラマーですか。
 b. A社の ^{かいしゃ}会社ですか。
 c. ホンさんは NVS社の ^{しゃいん}社員ですか。
 d. コリンズさんの ^{しゅっしん}ご出身は カナダですか。

4. この/その/あの/どの N

- a. ^{かた}この方は ベトナム ^{ししや}支社の ^{ゲエンさん}です。
 b. ^{ひと}あの人は ^{じんじぶ}人事部の ^{やまもと}山本さんです。
 c. このソフトウェアは B社の ^{せいひん}製品です。
 d. PPP社社長は ^{かた}どの ^{かた}方ですか。

5. N1は N question ですか

- a. ログイン名は ^{なん}何ですか。
 b. データベースの ^{かんりしや}管理者は だれですか。
 c. ^{かた}あの方は どなたですか。
 d. B社は ^{なん}何の ^{かいしゃ}会社ですか。
 e. このソフトウェアは ^{どこ}どこの ^{せいひん}製品ですか。
 f. このコンピュータは ^{だれ}だれの コンピュータですか。

6. N1は N2じゃありません (ではありません)

- a. 私わたしは プログラマーじゃありません。
- b. B社しゃは ソフトウェアの 会社かいしゃじゃありません。
- c. 高橋たかはしさんは NVS社しゃの 社員しゃいんじゃありません。
- d. コリンズしゅっしんさんの出身は カナダじゃありません。

7. Nも / は

- a. このソフトは A社しゃの 製品せいひんです。
このソフトも A社しゃの 製品せいひんです。
- b. リンさんは プログラマーじゃありません。
ディアさんも プログラマーじゃありません。
- c. クマールさんは NVS社しゃの 社員しゃいんです。
モレノさんも NVS社しゃの 社員しゃいんですか。
→はい、モレノさんも NVS社しゃの 社員しゃいんです。
- d. ゲンしゅっしんさんの出身は ベトナムです。
マイしゅっしんさんの出身も ベトナムですか。
→いいえ、マイしゅっしんさんの出身は ベトナムじゃありません。 タイです。

8. はい、そうです / いいえ、そうじゃありません

- a. クマールしゃさんは NVS社しゃいんの社員ですか。 →はい、NVS社しゃの社員しゃいんです。 / はい、そうです。
- b. リンさんは プログラマーですか。 →いいえ、プログラマーじゃありません。
→いいえ、そうじゃありません。
- c. 林はやしさんは 人事部じんじぶの 部長ぶちやうですか。 →いいえ、そうじゃありません。営業部えいぎやうぶの部長ぶちやうです。
- d. リンさんの 出身しゅっしんは タイですか。 →いいえ。中国ちゆうごくです。

よ 読みもの

1.

グエン・トゥイさんはベトナムのハノイ^{ししや}支社^きから来ました。

出身^{しゅっしん}はホーチミン^{しや}じゃありません。ハノイ^{しやいん}です。

NVS^{しや}社の社員^{しやいん}です。システムエンジニア^{しやいん}です。

営業部^{えいぎやうぶ}のリン^{ちゆうこくじん}さんは中国人^{ちゆうこくじん}です。グエン^{じやうし}さんの上司^{じやうし}は本田^{ほんだ}部長^{ぶちやう}と山本^{やまもと}課長^{かちやう}です。

2. 社内メール^{しやない}

本田^{ほんだ}部長^{ぶちやう}

はじめまして。

グエン・トゥイ^{しやない}です。

ハノイ^{ししや}支社^きから来ました。

ハノイ^{ししや}支社^きでもシステム^{ししや}開発部^{かいはつぶ}にいました。

どうぞよろしくお願^{ねが}いいたします。

システム^{かいはつぶ}開発部^{かいはつぶ}

グエン・トゥイ

内線^{ないせん}：257

ことばのリスト

◆ Nouns

～かた	person <polite>	～方
ex. あのかた	that person	あの方
かんりしゃ	administrator	管理者
くに	country	国
ゴルフ	golf	
コンピュータ	computer	
～さん	Mr./Ms.	
ex. ゲンさん		
システムエンジニア	system engineer	
システムかいはつ	system development	システム開発
しゅっしん	one's native place	出身
しゅみ	hobby	趣味
～じん	National (denotes country of ~人 origin)	
ex. にほんじん	Japanese	日本人
スマートフォン	smartphone	
せいひん	product	製品
ソフトウェア	software	
データベース	database	
ないせん	extention	内線
なん	what [phenological variant of な何に]	
ひと	person	人
プログラマー	programmer	
プログラミング	programming	
メール	mail, e-mail	
ログインめい	Login name	ログイン名
わたし	I, me	私

Words for companies

かいしゃ	company	会社
ししゃ	branch office	支社
～しゃ	～ company	～社
ex. NV Sしゃ	NVS company	N V S社
しゃいん	employee, staff member	社員
しゃちょう	president of company	社長
しゃない	within the company	社内
じょうし	one's superior	上司
～ぶ	department	～部
ex. えいぎょうぶ	sales department	営業部
システムかいはつぶ	system development division	システム開発部
じんじぶ	human resource department	人事部

ぶちよう	department manager	部長
ほんしゃ	head office	本社

Countries and cities

カナダ	Canada	
タイ	Thailand	
ちゅうごく	China	中国
ハノイ	Hanoi	
ベトナム	Vietnam	
ホーチミン	Ho Chi Minh	

◆ Ko-So-A designations

この～	this ～	
その～	that ～	
あの～	that ～	
こちら	this person	

◆ Verb

ふきそく verb

くる	to come	来る
----	---------	----

◆ Expressions

いいえ	no	
(country) からきました	came from (country)	(country) から来ました
こちらこそ	Nice to meet you, too.	
どうぞ	please	
はい	yes	
はじめまして	How do you do?	
よろしくおねがいします／おねがいたします	Nice to meet you	よろしくお願ひします／お願ひいたします

